

洋書輸入協会会報

VOL. 15
NO. 8

(通巻172号) 昭和56年 8 月

理 事 会 報 告

6月26日(金)

(一) 6月19日(金)午後2時より British Council において開かれた BDC との会談についてのまとめを行った。

(二) 文化厚生委員長より次の報告があった。6月12日(金)～13日(土)に開催した東西合同懇親旅行会(鷺羽山・倉敷)は、合計56名の参加者があり、盛況のうちに無事終了した。6月27日(土)にキス釣大会、7月4日(土)～5日(日)に囲碁会を開催することおよび参加申込み情況。

(三) その他

事務局に設置するアンサホンの発注を承認した。

7月11日(土)

(一) 三洋出版貿易株式会社より学協会委員長を辞任したき旨申出があったので協議の結果、丸善株式会社を後任とし、今後とも各委員が協力して対処することを決めた。

(二) 福田理事長代理(東京外郵便協議会会長)より、東京税関東京外郵便出張所に人事異動があったこと、および新たに着任された牧野所長他のかたがたに挨拶をした旨報告があった。

(三) 7月9日総務委員会でまとめた本部事務局勤務規定案を承認した。

BDC—JBIA 会談報告

昭和56年6月19日(金)に、英国の Book Development Council Mission メンバー14名と、JBIA 側13名とが、British Council で会談の機会を持ちましたので、その概要を報告します。

1. 出席者

BDC 側

B. W. Bennett, Vice Chairman, (Arnold)

D. E. Gadsby, Managing Director, (Black)

T. C. A. Goldsmith, Pub. Director, (Blandford)

* W. G. Graham, Chairman & Chief Exec.

(Butterworth)

R. G. B. Duncan, Managing Director, (Churchill)

C. M. Amanda Halstead, Exp. Sales Magr,
(Croom Helm)

R. W. Chester, Exp. Sales Director, (Granada)

H. J. F. Campbell, Chairman & Chief Exec,
(Hamlyn)

H. MacGibbon, Managing Director,

(Heinemann Educ.)

D. R. Worlock, Ass. Managing Director, (Nelson)

理事会報告……………	1	東京税関東京外郵便出張所の機構変	第13回洋書まつり広告……………	6
BDC-JBIA 会談報告 ……	1	更と人事異動について……………	洋書青年会主催第三回講演会……	7
来日外人名簿……………	2	本の本 No. 21 ……………	事務所移転のお知らせ……………	7
文化厚生委員会だより		総代理店ご案内……………	計 報……………	7
釣大会……………	2	お知らせ……………	海外ニュース……………	7
第14回箱根の碁会……………	3	外国出版社紹介 No. 82 ………	広 告……………	8

D. M. R. Kewley, Exec. Director, (Pan Books)
R. F. Kibby, Int. Sales Director, (Transworld)
I. M. Pringle, Exp. Sales Director, (Pitman)
A. A. Read, (Mission Secretary)
(* Mission Leader)

JBIA 側

福田、小路、杉山(丸善)、相良、奈尾(紀伊國屋)、
村山、岸(日貿)、武田(三洋)、石内(東光堂)、山川
隆司(USACO)、前橋(中央洋書)、斉藤(UPS)、柴
田(事務局)の各氏。

2. BDC 側よりあらかじめ提出された議題。

- (1) 英文の輸入書籍の日本におけるマーケットの現況。特に専門書、ペーパーバック、児童書及び低学年向け書籍について。
- (2) 最近の為替相場の変動が英国書輸入に与える影響について。
- (3) 日本の洋書輸入業者に対する英国出版社のサービスの質、特に a) 書誌情報、b) 配送の効率とコスト、c) 問い合わせに対する取り扱いと、エラーを生じた時の調査について。
- (4) 現在の在庫政策と将来の傾向、および輸入・販売に及ぼす影響。
- (5) 日本における再販制度の現況及び付加価値税について。
- (6) 英国出版社と日本の洋書輸入業者との関係改善のために役立つと思われる要望事項。

以上のように、英国側から出された議題は、日本のマーケットを良く知りたい、日英間の関係を更に緊密にしたいという意欲に溢れたものでした。これに対して JBIA 側としては、あらかじめ理事会において良く検討し、充分の準備をした上で会議にのぞんだ次第です。

会議は、BDC ミッション・リーダーのグレアム氏が、ユーモアをまじえながら進行役をつとめ、まず JBIA 理事長代理の福田氏から用意した JBIA 側の見解を項目毎に説明し、終始なごやかな中に参加者の熱心な質疑応答や、意見の交換が二時間にわたって続けました。

最後に、BDC のリード氏から、

- 1) 今回のミーティングの討議の中で、一貫してその底に流れていた問題は、英国書の出版社価格が、過去 2 年間に、インフレを始めとして様々な要因から高くなりすぎており、米国書に対して競争力が低下しているという認識である。これを英本国の他の出版社の人々にも伝えておきたい。
 - 2) 英国の金利、インフレは落ち着きを取り戻しつつあり、近い将来英国書の競争力が次第に回復するものと予想している。
 - 3) 英国出版社のサービスの質が高いという評価を得たことは喜ばしい。今後も努力したい。
- というまとめがありました。非常に率直かつ要を得たもので、印象的でした。BDC ミッション・メンバーの、熱心な意欲的な姿勢は、必ずや今後の日・英間の取り引きに好影響を及ぼすものと思われます。(相良記)

来 日 外 人 名 簿

6 月中旬 Mr. Roy F. Kibby,
International Sales Director,
Transworld Publishers Ltd., London
7 月上旬 Mr. John Lyon, Export Sales Manager,
Michael Joseph Ltd., London
7 月中旬 Mr. Salvatore Gelardi, Vice President,
Academic Press, New York
〃 Mr. Geoffrey Muligan, Export Sales
Manager, Pan Books Ltd., London
〃 Mr. G. Fleming, President, Harcourt
Brace Jovanovich International Inc.,
New York

文化厚生委員会だより

釣 大 会

6 月 27 日前夜来降りつづく梅雨の最中、江の島にて恒例のキス釣りを行ないました。8 時出船、そば降る雨の中、糸をおろしましたが潮かげんもよくなかったのか獲物にめぐまれず、昼前に吹き出した強い風で波が高くなり早々に引き上げました。参加 12 名、入賞は次の通り

一位 テクニコン 楯、日ソ図書 斉藤、
二位 中央洋書 前橋、丸善 富田、洋販 今井、
大物賞 テクニコン 楯、日ソ図書 斉藤、
(M.T.)

第14回 箱根の碁会

(鈴木常夫氏追悼記念碁会)

箱根湯元からの登山電車は、この季節になると「あじさい電車」とも呼ばれる。何度かスイッチバックをくり返しなが、山を登ってゆく電車の車窓には、濃紺・藍・紫と色さまざまな「あじさい」の花が溢れ、十数年来初夏の頃に此の地を訪れるのが例となった囲碁同好会の一団の眼を楽しませてくれる。ただ今年一まつの淋しさがあるのは、去年まで、同じこの電車の中で、「やア、きれいやネ」と嘆声を放っていた、三洋出版貿易の鈴木さんの姿がないことだ。そして今年の碁会は、はからずもこの二月に急逝された鈴木さんの追悼碁会ということになってしまった。

集うもの18名。指導は忙がしいスケジュールを無理に都合して来て下さった時本六段。対局場の床の間に、鈴木さんの遺影が飾られ、洋販の渡辺さんが親友として、

また碁の仲間として、ありし日の彼を偲びながら追悼の挨拶をされる。それから、追悼記念連碁。これは時本六段に五子の指導碁を打っていただくのだが、参会者一同が数手ずつ順番に打つもので、棋譜は記録され、後日、鈴木さんの霊前に捧げられた。

セレモニーが終わると、例年通り、熱気あふれる対局が開始される。夕食には、榎・前橋両氏が早朝から狩野川で七十数尾も釣ったという、形の良い鮎が、塩焼きとなって一同に振舞われ、思いがけぬ口福に、ビールを干すピッチも一きわあがったようである。

対局は深夜まで続けられ、好成績をあげて、洋販・渡辺氏の寄贈になる「鈴木常夫氏追悼記念碁」を始め、賞品を手にした人等は次の通りとなった。

1位：中岳(三洋)4戦4勝。2位：倉持(教文館)4戦4勝。3位：前橋(中央洋書)3勝1敗。4位：榎(3勝1敗)。5位：柴田(事務局)3勝1敗。(K.S.)

東京税関東京外郵出張所の機構変更と人事異動について

(通関委員会)

昭和56年7月1日付にて、東京税関東京外郵出張所の人事異動が行われ、又、機構の一部が変更されました。現在、所長以下担当係官及び事務分担は以下の通りになっています。

所長 牧野 操	総務課長	原 嵩	総務係、管理係	
	統括審査官(輸出)	渡辺敏雄	輸出郵便物の通関事務、免税、もどし税又は還付金事務。 外為法関係事務、証明書の交付。	
	統括審査官(輸入総括)	阪本裕昭	輸入通関事務運営の調査。外為法関係事務。収納、還付 関係事務、評価関係事務、特惠管理事務。	
	統括審査官(入1)	奥野 徹	郵便物の直課事務、バルクメール、ビジネスメールの検 査事務。	
	次長			
	渡辺 徹	統括審査官(入2)	中野俱明	同上
		統括審査官(入3)	米澤義正	小包郵便物の直課事務。
		統括審査官(入4)	中村毅志彦	同上
		統括審査官(入5)	片岡節二	郵便物の受付事務。課税通知書の整理事務。保税運送の 承認。証明書の交付。
		統括審査官(入6)	木俣 清	郵便物の非直課事務。流れ郵便物の事後通関事務。ブッ ク通関事務。
		統括審査官(入7)	川喜田一郎	郵便物の非直課事務。流れ郵便物の事後通関事務。内容 点検の立会。
	統括審査官(入8)	横山吉蔵	同上	
	税関相談官	石川康雄	通関相談。苦情処理。通関指導と税関業務の周知宣伝、 通関協議会関係事務。	

中央アジア シルクロードの洋書を溯る(5)

ヘディンの巻(I)

八 木 佐 吉

ここ数年、シルクロードという言葉、わがマスコミの世界、テレビに新聞雑誌に、出版物に、聞かぬ日はない。世俗的に言えば「鳥の啼かぬ日はあってもシルクロードを耳にしない日はない」などとざれごとをいってもよさそうである。

こうした日本の風潮のなかで、洋書の世界、欧米では、それほど目立った、新刊のシルクロード物は出てこないようであるが、反って国内とかアジア諸国内では、スタインのものなどの複製版が、現われているのは、日本の出版界の大浪の余波であろうかとも思う。

さて、ふるき日、シルクロードというよりセントラルアジア、中央亜細亜といって、この地域を総称していた時代の先達はスウェン・ヘディンである。スタインの名も、ぼちぼちきえてきていたが、何といっても、ヘディンの名が先きである。ロシアの探検家達は、多く天山山脈の周辺とか、蒙古タングート地域に片寄っていたためか、または軍事的意味をもっていたため、日本には、極めてせまい範囲の人々にしか伝わってこなかったようである。

そのヘディンが今から73年前1908(明治41)年にわが国に来たという古いニュースを新しくお伝えしよう。

しかも、中央アジア、チベット探検の帰路を利用して、日本地学協会(創立明治13年)と帝国大学(東京)が協力して招待したのだから意義深い。

丸善のハウス・オーガン(PR誌:機関誌)「学鑑」の明治41年11月号にその記事が載っている。その228~229ページの雑報欄に

Sven Hedin 氏来り、「中央アジア及西藏の大探検家として世界に名高き瑞典の地理学者 Sven Hedin 氏は、今回我地学協会及帝国大学の招待に応じ、11月上旬来邦せられたり、氏は1865年ストックホルムに生れ、同市及伯林大学に於いて学び、中央亜細亜、土耳其斯坦(トルキスタン)パミール、西藏、蒙古等を探検すること前後約3回、その結果は、「Durch Asiens Wüste」、等浩瀚なる著述となりて発表せられあり。

而して、氏の探検中、最も有名なる発見にして、19

世紀の東洋研究の花と呼ばれたるは Taklamakan 市の発見なりき。要するに氏の15年間の中央亜細亜探検の結果が、東西の東洋研究者に向って与えるところ多きこと、今更云ふまでもなし。今かかる探検家の来邦を聞くは、学界のため、大いに賀すべきことと云ふべし。

(筆者注: Taklamakan 市とはタクラマカン砂漠の東部で発見した古都ローラン(楼蘭)の遺跡のことであろう。

さて、スウェーデン人 Sven Hedin(1865—1952)は、地理学者、内陸アジアの大探検家として著聞している人で、地理的探査のほか、古代遺跡の発見もあり、中央アジア周辺に足跡を印したことの数、年月が多いことでも第一人者である。

1878—79年に、スウェーデン人ノルデンショルドが、北ヨーロッパから、アジアの北の海洋を東へ航海して、ベーリング海峡に到達し、太平洋に出ることに成功した。いわゆる North-East Passage と云っていた前人未踏の航路を拓いた。これはヨーロッパ人が15世紀、あるいはもっとむかしからの憧れの海路であった。この探検家は、帰国の途中1879年9~10月のころ、わが横浜に寄港して、地質など学術調査をしたり、日本の書籍を蒐集したりして、1880年4月24日母国のストックホルムに帰ってきた。このときの国を挙げての歓迎ぶりを目のあたりにした、15才のスウェン・ヘディン少年は、自分も将来探検家たらんと決心したのだという。しかし、ヘディンの運命は、海洋でなく、陸の秘境を調べ究めることになって、遂に内陸アジアの主のように育っていったことであつた。それは、高等学校を卒業するとすぐに、家庭教師として、ある同国人の赴任先カスピ海沿岸のバクーに行くことにきまって、アジア内陸との結び付きが偶然にできてきたのであつた。この仕事が終わって、ペルシャ、メソポタミア地方を自費で巡り歩いたのが、ヘディンのアジア旅行の始まりである。1885—86年ごろで、彼は21才のときであつた。

運命の糸は、更に筋を呼んで、帰国すると間もなく、

今度はスウェーデン王オスカル二世がペルシャなどに使節団を遣わすことになっていた。ヘディンはその通訳官に任命された。国王使節一行は1890年4月にストックホルムを出発して、コンスタンチノーブルから黒海、カスピ海と進み、テヘランに至った。使命を果たして一行が帰国のとき、ヘディンはこの機をのがさず、アジアの奥深く旅行したい旨を申し出た。オスカル王は、許可したのみでなく、ヘディンの旅行費用まで負担してくれることとなった。この旅行は、ロシア領トルキスタン地方、サマルカンドからタシュケント、カシュガル、天山山脈西辺の一峰にまで及び、更にイシク・クル湖畔にある探検の先輩ブルジェヴァルスキー(本誌先号に述べた)の墓参りまでしている。1891年4月

ヘディン像
(Grosse Männer の表紙)



ごろ母国に帰った。それから間もなく、ヘディンは地理学、測定技術などを、系統的、学術的に身につけようとドイツのリヒトホーフエン教授のもとで指導を受けるため、ベルリン大学に入学する。既に大著 China の出版を為

しつつあり、その中で「ザイデンスシュトラーセン・(シルクロード)の命名までしているリヒトホーフエンは、ヘディンにとっては、打って付けの教授であった。

こうして学業を卒えたヘディンは、1893年10月から、いよいよ本格的に中央アジア探検に乗り出す。以来、

既述の日本へ立寄るまでに三回のエキスペディションを行っていること、「学鑑」の記事のとおりである。すなわち、1893—1897年、1899—1902年、1906—1908年にわたる。この後は更に何回も続行される。

わが国へは、この中の第3回の探検が終わったのち、来たものである。

この時まで、すでに著書は大略

Durch Asiens Wüste. 2 Bde. 1899. Leipzig.

Through Asia. 2 Vols. 1898. London.

Die geographisch-wissenschaftliche Ergebnisse meiner Reisen in Zentralasien, 1894—1897. 1900. Gotha. Petermanns

Central Asia and Tibet. 2 Vols. London. 1903.

Im Herzen von Asien. 2 Bde. 1903. Leipzig.

Abenteuer in Tibet. 1904. Leipzig.

Scientific Results of a Journey in Central Asia, 1899—1902. 6 Vols. 1904—07. Stockholm. (Maps. 2 Vols. 1907.)

が出版されている。勿論この中の何部かは日本へも輸入されていたことであろう。

ヘディンは明治41年に来日滞在中に、天皇(明治)、乃木大将、東郷元師、伊藤博文などと面談している。これらの人々の記事のち、ヘディンの最晩年の出版書「私の会った大人物」

Sven Hedin: Grosse Männer denen Ich Begegnete.

2 Bde. 1952. Wiesbaden. Brockhaus.

(Schwedish original: "Stormän och Kungar". 1950. Stockholm.)

2巻中に写真肖像入りで世界中の約60名の大人物との会見印象記が出ている。この本は、探検記ではないので、世に知られることすくないと思うので紹介しておく。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がありましたのでお知らせします。お手許の Agent List にご記入ください。

丸 善株式会社

☎272—7211

Myant, N. B.

Biology of Cholesterol and Related Steroids,

(Heinemann Medical Pub.) ca. ¥29,250

Dictionnaire Hachette de la langue française.

(Hachette) ca. ¥8,400

お知らせ

三洋出版貿易株式会社は、このたび京都営業所を廃止し大阪営業所と合併いたしました。

電話番号が変更されておりますのでお手許の会員名簿を訂正願います。

〒540 大阪市東区内平野町2—37(石井ビル)

三洋出版貿易株式会社 大阪営業所

☎ (06) 947—1150(代表)

Butterworth & Co. (Publishers) Ltd.

Butterworth 社の歴史を辿ってみると、1553年にまで遡ることができる。当時は英国王室関係の法律書の出版及び書籍販売店を営んでいた。1500年代後半、William Shakespeareとの関係があったとされているが、彼の著書の印刷との関係上あったとされており、否定は出来ない。Butterworth 社が、いわゆる会社組織となったのは1818年、Henry Butterworth によってである。同じく法律関係の出版を主体とした出版社として生まれ変わったわけである。しかし、Butterworth 社が法律、医学の出版社としていよいよ確立されたのは、1800年代の終わり、Butterworth 家より、Bond 家へ継承されてからであり、中でも Stanley Bond が1900年代の初めに加わってからである。

彼は Lord Chancellor であった Lord Halsbury に対して英国最高の法律書の編集を依頼する。そして遂に完成したのが Halsbury's Law of England (現在第4版 全56巻)である。Stanley は次々に法律書の Encyclopaedia 等々を企画し、現在もその意志が継承されている。

医学書では、1936年、British Encyclopaedia of Medical Practiceの初版が完成し、続いて単行本が続々あらわれてきた。

Butterworth 社の歴史の中で最も有名な事件は1950年代、Butterworth-Springer Ltd が出来、後にそれが Pergamon社に変わって行ったことである。丁度その頃より Butterworth Science Technologyの出版物の芽が伸びはじめてくるのである。

1973年、Butterworth の本社は、London より Kent 州 Borough Green に移転した。500名にもものぼる従業員も総移転したわけである。しかし法律部門は、裁判所、議会との関係上いまだに London に現存する。

1975年、Gordon Graham が社長に就任し、現在に至っているのであるが、これを機に機構が整備され、Butterworth Group として以下のようになっている。即ち、全世界を6社に別かれ、British, USA, Canada, New Zealand, Australia, South-Africa のようになっている。

USA は主に Science, Technology, 特に Medicine の出版に、Canada, Australia, New Zealand, South Africa は主に Social Science, Law, Economic に British は専門書の全領域にわたって出版を行っている。即ち、Butterworth 社は Trade Book を除く全領域の出版を行なっているわけである。なお、1980年より81年にかけて、アメリカの Ann Arbor 社が、また英国の Focal Press が Butterworth Group に加わっている。また、従来皆無であった Journal が、1981年より新たに出版開始となり数年以内に数十点にのぼる見込みである。

Butterworth は IPC (International Publishing Corporation) のグループの一員であり、同系列として、Daily Mirror 社、Paul Hamlyn 社がある。更に IPC の上部団体には Reed International (製紙工業、建築業、等々) がある。

(加藤記)

第 13 回 洋書まつり '81

洋書輸入協会主催合同セール

と き 昭和56年10月9日(金)・10日(土)

10:00~18:00

ところ 東京古書会館

千代田区神田小川町3-22

電話 03-293-0161

「洋書青年会主催第三回講演会」報告

去る5月21日神保町の学士会館に於いて、午後6時半より洋書青年会主催第三回講演会が開かれ、講師として国連大学学術情報局長兼出版部長の箕輪成男氏が招かれ、業界から約70人の若人達が参加されて盛会であったことは既報の通りですが、今回は当日の講演内容についてもう少し詳しくお知らせしたいと思います。講師はテーマとして「科学情報伝達上の書籍業界（日本のみではなく世界的なスケールでの）に於いての問題点」ということを挙げられました。先ず業界にとってプラスの面として下記の3点を列挙されました。

- 1 科学情報の量的拡大
- 2 学問の相互連関性
- 3 複合領域的なアプローチの必要性

以上の点をもう少し分かり易く言うと、科学者の絶対数が以前に比べるとここ十数年来圧倒的に増えた為に、学術世界にとっては情報の検索が大変難しくなってきたが、業界にとっては販路の拡大につながってきたという事、更には学問のある分野で新しい研究発表があれば、他の分野の科学者といえども自分の研究をすすめる上でその情報が必要となってきた事、又近年、先進国の大学では世界の食糧問題、代替エネルギーの開発、人口問題、等に問題指向の研究が盛んになってきた事、等により科学者は情報へのアクセスが大変になり、多数の情報を必要とするようになった事が売上の増加につながってきたと言えるでしょう。

事務所移転のお知らせ

下記の通り移転通知がありましたのでお知らせします。
お手許の会員名簿を訂正願います。

(株) サイテック ブックサービス

新住所：〒103 東京都中央区日本橋箱崎町32-3-615

秀和箱崎ビル

☎(03) 666-5975

訃 報

北澤書店 代表取締役社長 北澤龍太郎氏は病氣加療中のところ、7月20日に逝去され、7月23日、文京区本郷、興安寺にて葬儀がおこなわれました。
茲に謹んで哀悼の意を表します。

一方、ネガティブな面として次の2点を挙げられました。

1 複写技術の向上

2 図書館内のオンラインによるネットワーク化傾向
第一の点は既に機会ある毎に指摘されている事です。第二の点は、米国オハイオ州コロンバスにあるオハイオ州立大の図書館を中心として、全米で1,000を越える加入大学図書館がオンラインでネットワーク化され、センターで書誌情報をインプットすれば、加入者はいつでもその情報を引き出せるし学術カタログの作製が容易に出来るようになったという例があります。ここでは更に加入者間でどこにどんな本があるかがすぐに調べられ、図書館間での図書の貸し出し又は必要な個所のコピーの提供も行われていて、情報伝達の合理化が進んでいるそうです。日本でも今春文部省が「学術情報センターシステム構想」を発表しましたが、オハイオ州立大学の方式と大同小異と言えましょう。このシステムによれば、極端な例では1冊の本があればそれで加入者の図書館は事が足りるということになりますが、しかしこれは極端な例で、又余った予算で他の本を購入するでしょうし、そう悲観することはないとの講師のお話でした。その他にも講師はご自分の経験から興味深い種々の話をされ、質疑応答の後で最後に集まった若い人達に「学術情報伝達の専門家たれ！」と励ましの言葉を送って話を終えられ、予定の2時間はまたたくまに過ぎ去った一刻でした。（由里記）

海外ニュース

「エルゼビアがダットンを売却」

E. P. Dutton, Inc. は創業以来129年の歴史をもつアメリカでは有数の著名な一般書の出版社だが、1975年以来オランダの Elsevier 社の100%の子会社になっていた。この Dutton 社は今年3月より親会社の Elsevier から売りに出されていたが、7月13日に、近年急成長を遂げている技術製品の製造会社である Volt Information Sciences, Inc. に売却された旨発表された。

Volt 社の社長の言では、Dutton 社はこのまま一般書の出版を続けるが、ビデオカセットなどの新しい科学技術の世界にも進出をはかる模様である。

(Publishers Weekly, 7月24日号より)

— 紀伊屋書店提供 —



英国金属学会出版物ご案内

当学会は1908年創立の金属協会と1869年創立の鉄鋼協会の二つの協会の活動を引継ぎ、1974年に新たに発足した権威ある学会であります。

金属、鉄と非鉄金属及び関連材料等の全領域を網羅した学術的に高い専門雑誌、書籍を刊行いたしており、その活動は高く評価されております。是非ご検討の上、ご購入下さい。

＜1981発行予定＞

鉄鋼業のエネルギー対策

●Energy-Conscious Iron-and Steelmaking ￥25,200

高度な合金に関する著書目録（1974-77）

●Multicomponent Alloy Constitution Bibliography ￥21,000

メッキ鋼板の製造から利用まで

●Production and Use of Coil-coated Strip ￥25,200

鑄造のテクノロジー

●Solidification Technology in the Foundry and Casthouse ￥ 未定

——その他新刊書籍——

- Constructing in Steel ￥21,750
- Hot Working and Forming Processes ￥29,000
- Future Metal Strategy ￥21,750
- The Steel Industry in the Eighties ￥26,100
- Heat Treatment'79 ￥29,000
- Solidification and Casting of Metals ￥26,100
- Atlas of Interference Layer Metallography ￥43,500
- Behavior of High-Temperature Alloys in Aggressive Environments ￥26,100

＜専門雑誌＞

■下記の雑誌は総べてASP扱いにて送付されます。

誌 名	発行回数	1981年度 予約購読価格
Metals & Materials	月刊	￥42,500
Metals Technology	月刊	￥59,500
Metal Science	月刊	￥61,200
Ironmaking & Steelmaking	隔月刊	￥39,100
International Metals Reviews	隔月刊	￥39,100

誌 名	発行回数	1981年度 予約購読価格
Powder Metallurgy	季刊	￥30,600
British Corrosion Journal	季刊	￥30,600
Steel-in-the-USSR	月刊	￥102,000
World Calendar	季刊	￥17,000

■ご注文は最寄りの洋書取扱店又は弊社にて承ります。■「円」価格は予告なく変更されることがあります。

日本総代理店

USACO 株式会社ユー・エス・エシアテックカンパニー

- 本社 東京都港区新橋1丁目13番12号 堤ビル ☎東京(03)502-6471(代表)
- 大阪 大阪府北区堂島1丁目2番2号 日昭ビル ☎大阪(06)344-6624(代表)
- 名古屋 名古屋市中区権木町3丁目63番地 ☎名古屋(052)931-2601(代表)
- 筑波 土浦市富士崎1丁目7番21号 和光ビル ☎土浦(0298)23-1773(代表)

昭和56年8月 通巻第172号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪府北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎ 371-5329